

発行：新潟北高等学校

22012003



先日（1月14日）、第1回目となる幼稚園交流体験実習が終了し、ホッ(^_^;)としたのもつかの間、第2回の幼稚園交流体験実習の準備に取りかからねばならない日となり、18日の午後に幼稚園にうかがった。

その際、幼稚園の副園長さんから先日の体験実習の翌日の朝登園してくる幼稚園児の保護者の皆さんから寄せられた声をいただいた。その主なものを紹介しよう。

「園児たちが各家庭において、餅つきの感想やお兄さん、お姉さんが優しかったことなどをうれしそうに語っており、大変有意義な取組である。今後の継続を願う。」

「園児たちにとっても『こころ』を育てるよい機会として捉え、今後の日常生活の中でさらに広げたり、深めたりできるようバックアップしていきたい。」などなど。

私たち北高生の原体験を呼び起こし、「こころ」の成長を促すために取り組んだ体験実習であったが、それと同時に私たち教職員をはじめ園児やその家族の皆さんの「こころ」にも響いた??第1回の実習となったようだ(^_^)v

それだけに今後の取組が重要になってくるものと再認識したのは私だけではあるまい。

小雨の降る中、竹の切り出しから運搬、杭うちから買い出しまでとお忙しい中最大限のご協力をいただいた幼稚園の先生方に感謝の気持ちでいっぱいである。はてさてかく言う私は明日の晴天を祈りつつ竹の固定に精をだした。

第2回幼稚園交流体験実習 ～H22.1.19(木)実施～

当日は晴天というほどではないものの、この時期にしては珍しく穏やかな気候となり園庭での「どんど焼き」ができそうだななどと思いつつ万全の準備

のために幼稚園に向かう。幼稚園の先生方と一緒に立てた竹の周りを菰こもで覆い、荒縄で縛る。さあて、もう一踏ん張り!!

そうこうしているうちに登園時間となりそそくさと準備終了。

「あのスルメをすべて焼く時間の間は竹さんよ、立っていておくれ」などとつぶやきながら実習中の各教室へと向かう。

今回の実習生は9名。こちらの心配をよそにもうすでに笑顔で対応。これが「若さ」のなせる業なのだろうか???



「ねえ、お姉ちゃん先生遊んでえ!!」

外部評価委員も思わず笑顔(^^)



みんなで書き初め?中!!



どんど焼き

燃える燃える～

煙を被って
無病息災!!

「ねえ、スルメ
まだあ～」

さあ、本日のメインイベント「どんど焼き」の始まり始まり～(^_^)そこで登場したのはまたしても園長先生。そして点火!!「まあよく燃えること」

「早く～スルメ、スルメ」

はてさてかくして今回の交流実習も無事終了!!

実習後の参加生徒のアンケート中の感想では、全員が交流を行って見て「大変よかった」と回答しており、今後は学校あげての取組とすべく企画推進していかなければなるまい。



「噛み切れな～い(>_<)」

本事業の取組内容は、新潟北高等学校ホームページでも公開しています。